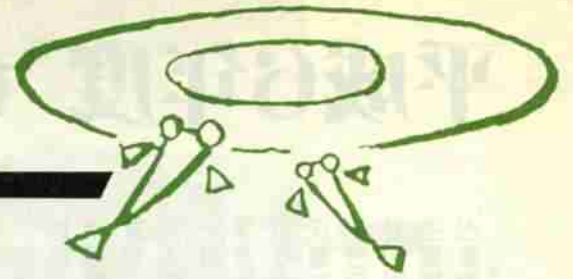


NOBORIBETSU



広報  
**のぼりベツ**

'94  
**4.1**  
No.522

# 平成6年度 市政執行方針 (要旨)



市政執行方針を発表する上野市長

二月七日開会された平成六年第一回定例会市議会で上野市長は、平成六年度の市政執行方針を発表しました。その中で市長は、「活力とつるおいに満ちた地域社会づくり」を、一歩一歩進めていくためには、行政ばかりでなく、民間機関や市民一人ひとりが力を合わせて、将来のあるべきまちの姿を思い描き、その実現に登別市が持つすべての力を結集して進んで行かなければならない」と、まちづくりの一層の推進を強調しました。

また、「長年の懸案であつた幌別地区の商店街近代化事業や新生、富岸地区での民間の設備投資、総合福祉センターしんた21、幌別小学校改築工事など官民一体となつた取り組みは、厳しさの中にも明るさへの萌芽が見られ、この流れを確かなものにするため最大の努力を重ねる」と決意を表明しました。

今月号は、平成六年度市政執行方針の当面する課題四点の取り組みと、主要施策を重点に平成六年度予算案をお知らせします。

## 市民一人ひとりの力を結集して

### 当面する四つの課題

#### 「不況対策」

市は、市内経済の下支えを図るため、本年度は、公共事業の確保とその適正執行に努めます。

観光は、まるごと登別の売り込みを図り、温泉やテーマパークと一体となつた誘客活動を展開するとともに、観光関連の雇用安定に努めます。

#### 「新総合計画の策定」

平成七年度で終了する第三次登別市新総合計画に替わる新たな総合計画は、地域振興・発展のビジョンとこれを達成するための振興策の基本方向であり、いわば当市の二十年後、三十年後を見すえた将来像を定めるものです。

したがって、策定には、市民の皆さんとともにつくり上げることが基本理念として、素案作成段階から積極的

に、各地区、団体等の御意見もお聞きしたいと思います。

また、いま検討が進められているC Iについても総合計画のビジョンと連動し、一体的に進めるよう努めます。(※C Iの説明は9ページ参照)

#### 「財政運営」

平成六年度予算編成は、厳しい財政環境を踏まえ、財政の健全化に配慮しつつ、積み立て金の取り崩しで不況対策に積極的に取り組むこととしました。事務的経費を極力抑制するとともに国・道の制度を積極的に活用した財源確保に努め、各種事業の優先度や重要度を精査し、財源の重点的配分を行うなど行政効果を最大限に発揮するよう努めました。同時に、懸案でありました受益者負担の適正化を図るため、集会施設等の使用料の見直しを行い改正することにしました。

また、下水道料は、施設の維持管理に必要な費用の一部としてご負担いただいておりますが、健全な事業運営を図るため、新たなコスト計算をもとに、見直しをすることといたしました。

また、本年度より市の施設に搬入される事業系ごみや家庭から臨時に排出されるごみは、一部費用負担をお願いすることとなりました。しかし、一般廃棄物の処理には今後一層多額の経費を要することから、この手数料相当額は今後の施設整備に必要な財源の一部に充てるため、基金として積み立てることとしました。

#### 「国際家族年の取り組み」

本年は、「家族から始まる小さなデモクラシー」を共通スローガンに国連が定めた「国際家族年」です。各々が家族を見つめ、改めて各人の役割と責任、他を思いやる心について考えるとともに、同じ地域社会に住む他の家族や世界中の恵まれない家族についても考える年にしたいと思います。

※アモフラシー＝民主主義



▲各種イベントを支援します。(昨年の地獄まつりより)



▲12月完成を目指して核店舗の建設が進みます。(完成予想イラスト)

# 主要施策

## たくましい産業の育成

観光宣伝は、新たな観光ポスター・パンフレット、観光ビデオを作成し、観光協会と一体となって強力な活動を展開します。

さらに、北海道が主体となつて行う「大型観光キャンペーン」の地元誘致を図るとともに、観光協会や登別テーマパーク協議会などが行う新たな企画に対しても支援します。

さらに、観光ホスピタリティ(※温かいもてなし)の啓発や観光ボランティアの育成、外国人観光客の受け入れ態勢の整備等を引き続き行います。

農業は、農免農道の整備と営農用水整備の促進を引き続き図るとともに、乳牛検定情報システム化事業を支援し、農畜産物の加工研究や観光農業に関する調査・研究を進めます。

水産業は、「つくり育てる漁業」を推進するため平成五年に設置された「北海道栽培漁業基金」に対し、引き続き出捐するとともに、登別漁業協同組合が実施する「エゾバカ貝稚貝移植放流事業」、「タコ産卵礁設置事業」、水産資源に有害なヒトデ、タマ貝などの駆除事業を支援します。

また、漁業生産の拠点である登別漁港と登別漁港は、本年度から始まる第九次漁港整備計画の中で整備促進が図られるよう努めるとともに、登別漁港関連道路についても早期完成

を期していきま

商工業の振興は、引き続き、中小企業相談事業に助成し、中小企業特別融資枠の拡大を図ります。

平成四年度から取り組んでいる幌別地区の商店街近代化事業は、まず、市街地再開発事業に関わる核店舗建設について補償等の関係事務が終了し、建物の解体や土地整備がすすめられ、年内完成を目指して本格的な建設工事に着手することとなりま

したので、事業が着実に推進されるよう積極的に支援します。

北駅前通りの整備は、事業に着手することになりましたので、整備促進を図ります。

また、商業の振興と地域経済の活性化を図るため開催される各種イベントに対し引き続き支援します。

さらに異業種の交流を深めながら

## 住みよいまちづくり

道路整備は、基幹となる国道三十六号の登別地区拡幅事業の促進について、引き続き要請します。

次に、道道は、「緑の回廊事業」として整備がすすめられている洞爺湖登別線は、第二工区の平成七年度完成を目指すとともに、引き続き第三工区の着工を図ります。

また、上登別室蘭線富士通り並びに倶多楽湖公園線は、引き続き用地取得に協力し改良整備の促進に努めます。

市道は、カルルス路線改良事業第

地域経済の活性化を目的とする「産業フェア」の拡充を図るため、本年度は誘致企業と地場企業との連携を深める「産業フォーラム」が開催されますので、これを支援します。

労働対策は、引き続き、職業訓練センター事業に助成を行います。

また、高齢者の就労機会の確保と生きがいの充実を図るため、「シルバー人材センター」に対し、会員数の増加とその円滑な運営が図られるよう支援します。

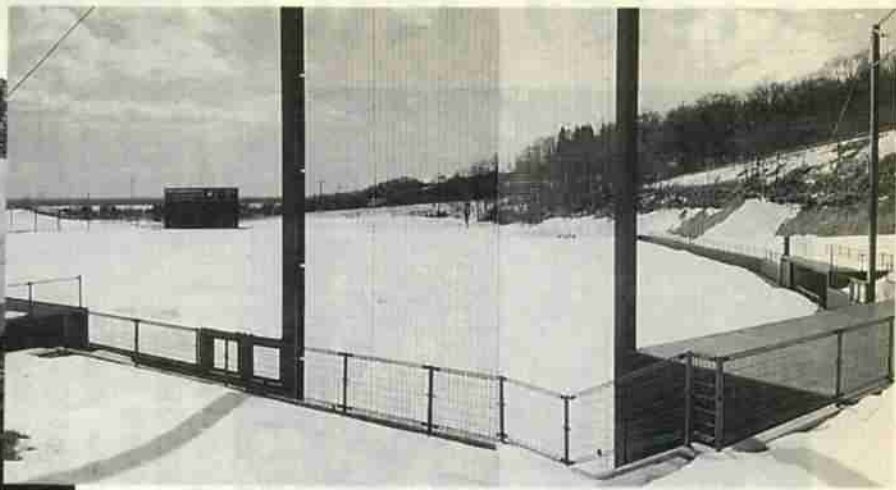
さらに、働く人々の生活の安定と福祉の向上を図るため、引き続き、勤労者特別融資事業を行うとともに、パート労働者の雇用環境の改善を図るため、関係機関と連携し平成五年十二月に制定された「短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律」の趣旨について啓発に努めます。

二期工事に着手するとともに、新たな墓地の造成に伴い登別富浦路線の道路改良に着手します。また、カルルス温泉地区内とスキー場の円滑な交通を確保するため、カルルス東雲線の改良整備に着手します。

街路西通りは、本年度の完成を目指すとともに、街路円山通りは、二期計画に着手します。

なお、毎日の暮らしに直結する生活道路は、緊急度の高い箇所から計画的に改良舗装を行うとともに、排水施設の整備をすすめます。

▼ごみの減量とリサイクルを一層推進します。



▲いよいよ使用開始となる川上公園野球場。

河川の整備は、二級河川岡志別川改修事業の、早期完成に向け促進を図ります。

準用河川は、ヤンケシ川の改修工事を引き続き行うとともに、西富岸川改修は、第二期計画へ向けて実施設計を行います。

また、市民有志が進めている「魚のサンクチュアリ計画」について、引き続き道立水産ふ化場との連携を図りながら支援するとともに、魚がのぼりやすい川づくりのため、魚道の設置等についても関係機関へ要請します。

市営住宅は、再生マスタープランに基づき計画的に整備、建替え事業をすすめています。緑ヶ丘団地は、最終五号棟の完成と幼児遊園を新設します。

また、登別温泉団地建替え事業は、本年度実施設計を行うこととし、桜木団地は道営住宅の整備が図られる予定となっておりますので、併せて建替えに必要な調査を行います。

なお、障害のある高齢の同居者が安心して生活できるように、浴室や階段、便所に手すりを設けるなど、改善を図ります。

道営住宅は、鶯別団地の早期完成を目指すとともに、登別地区への新設を促進するため建設用地の先行取得を行います。

公園の整備は、川上公園は、野球場の完成により全体事業が完了しますので、これを記念し社会人野球大会を致することとしています。

また、富岸地区土地区画整理事業区域内に街区公園を新設するとともに、既存の公園も緊急度の高い箇所から重点的に改修をすすめます。

交通安全対策は、川上路線・鶯別旧墓地路線の歩道設置を引き続きすすめるとともに、幼稚園、保育所が近接している富士五十四号線の歩道を新設します。

また、若草町ならびに登別港町に設置している跨線人道橋は、老朽化がすすんでいますので整備します。

踏切改良は、鶯別学田踏切の本年度完成を目指すとともに、大型店の進出等で交通量の増加が予想される富岸西路線について、踏切の改良を含めた整備のための調査をすすめます。

また、冬道対策は、スタッドレスタイヤへの移行に対応するため勾配のきつい坂道への砂箱の設置や路面凍結防止の融雪剤散布機を導入するなど、効果的な方法により安全の確保に努めます。

交通安全や防犯上必要な照明灯は、通学路などを重点として、引き続き設置します。

また、道路反射鏡は、危険度の高い箇所から計画的に設置します。

生活環境の保全是、生活排水による河川の汚れを防ぐため、引き続きモデル地区を定めて「厨房残渣を流さない実践活動」に取り組み、意識の啓発を図るとともに、河川の水質調査を行います。なお、昨年大量のサケがへい死した登別川は、特に監視体制の強化を、汚染の防止に

上水道配水管布設、改良、移設事業費	318,300
配水池新設、改修事業費	194,000
消防ポンプ自動車購入費	29,185
消防庁舎新築事業調査費	23,630

うるおいと思いやりのあるまちづくり

総合福祉センター周辺整備事業費	48,700
高齢者地域ケア推進経費	1,611
地域福祉活動促進事業費補助金	7,000
富浦墓地造成事業費	125,400
国民健康保険特別会計繰出金	403,938

創造性あふれる開かれた市政の推進

住民記録システム化経費	62,800
土地家屋管理システム化業務委託料	49,440
国際交流に要する経費	13,472

住みよいまちづくり

道道改良等受託事業費	2,107,920
市道路線改良・舗装事業費	271,600
市道舗装排水整備事業費	475,900
街路事業費	213,000
河川改修事業費	76,200
公営住宅改善に要する経費	2,000
公営住宅(緑ヶ丘団地5号棟)建替事業費	179,561
公園事業費	71,900
交通安全施設整備事業費	30,600
ごみ減量化推進事業費	10,670
千歳最終処分場整備事業費	143,900
清掃工場整備事業費	34,000
公共下水道事業費	1,203,160
終末処理場建設費	582,050

努めます。

また、花いっぱい運動などへの支援や緑化イベント事業、市民記念植樹を行うとともに、洞爺湖登別線などの幹線道路沿いに草花を植え、観光客を迎えるにふさわしい沿道の美化をすすめます。

ごみの減量化と再資源化は、分別排出の啓発とリサイクルシステムによる資源の回収を一層進め、また再利用可能な不用品を希望する市民への活用を図るため一時保管庫を設置することとしました。

千歳最終処分場は、埋め立て完了を平成十年と予定しておりますが、ごみの飛散、流出防止のための堰堤の建設など閉鎖に向けての準備をすすめます。

また、新処分場は、候補地の選定にかかる調査を引き続き実施します。なお、現清掃工場は、老朽化の著しいクレーンや炉などの基幹的な設備について改修を行います。

また、産業廃棄物は、それぞれ発生する市町村内で処理することを基本と考えますが、特別な処理施設が必要な廃棄物は、より広域的な観点から協調して処理することが効果的と考えられますので、その在り方について引き続き三市共同プロジェクトで調査研究をすすめます。

下水道の整備は、平成七年度からの第三期計画に向けて、事業認可区域の拡大に必要な手続きをすすめます。

上水道事業は、管の老朽化による



▲しんた21は周辺の整備を行います。

## うるおいと 思いやりのあるまちづくり

水 下地区の配水管新設や漏水の原因となる石綿管の解消に努めます。また、懸案となっていた、若草町高台地域の安定的な給水を確保するため、配水池の新設に着手します。消防体制は、引き続き職員の増員、

消防車両の更新、利の充足や資器材の整備を進めその機能の充実に努めるとともに、消防団員の処遇改善を図り、消防活動の総合拠点となる防災センター機能を有した消防庁舎の建設に向けて調査をすすめます。

「高齢者保健福祉計画」に沿って、具体的な施策の展開を図ります。

総合福祉センターは、利用者が交流し憩える広場の整備をはじめ、トイレや水飲み場、ふれあい花園など、外回りの整備をすするとともに、完成を記念し市民による植樹を行います。

高齢者や障害者に対するデイ・サービスは、引き続き円滑な事業運営が図られるよう努めます。また、高齢者に対する福祉・保健・医療等の各種サービスを総合的に推進するため、「高齢者サービス調整チーム」によるチームケア活動の一層の充実を図り、高齢者や介護家庭のニーズにきめ細かく対応したホームヘルプ活動を展開するためパートヘルパーを導入します。

(単位：千円)

### たくましい産業の育成

登別観光振興特別対策事業補助金	47,500
札内営農用水施設整備事業負担金	8,250
来馬第1地区道営農免農道整備事業負担金	10,000
工ソバカ貝稚貝移殖放流事業補助金	1,200
タコ産卵礁設置事業補助金	8,750
鷺別漁港整備事業負担金	1,125
登別市中小企業特別融資積立金	450,000
幌別地区商店街近代化推進事業費	378,800
商業活性化イベント事業補助金	2,400
登別市シルバー人材センター補助金	29,340
勤労者特別融資積立金	265,000

3月7日開会された平成6年第1回定例市議会で、平成6年度の予算が可決、成立しました。今年度の予算は、200億9千850万円、特別会計、水道会計を含めた総額は、329億951万円となります。平成5年度の当初予算と比較すると3.5%増の緊縮型予算です。

市政執行方針の4つ主要施策「たくましい産業の育成」、「住みよいまちづくり」、「うるおいと思いやりのあるまちづくり」、「創造性あふれる開かれた市政の推進」を重点に、今年1年間のまちづくりに向けてスタートします。

新年度  
予算  
スタート



▲お年寄りと子供たちとの楽しい交流やふれあいを深めて  
思いやりのあるまちづくりをすすめます。

さらに、お年寄りの楽しい交流の場となっている老人福祉センターは、「老人福祉センター祭り」を行い、施設の利用促進を図り、老朽化した登別窯作業所の窯を更新します。独居老人や寝たきり老人等の援護活動を町内会等の小地域できめ細かく行うため、社会福祉協議会が行う「小地域ネットワーク活動推進事業」を、引き続き支援するとともに、福祉を担うボランティアの育成と活動を助長するため「ボランティアセンター」の事業運営を支援します。

障害者の機能回復は、理学療法士、作業療法士や保健婦を配置し、しんた21の機器を活用した効果的な訓練に取り組みます。

障害者と健常者のふれあいを深めるため、社会福祉協議会が行う「ふれあい広場」を引き続き支援するとともに、しんた21の生きがい工作室やふれあいキッドルームなどを活用した交流事業を推進します。

また、歯科受診の機会に恵まれな在宅障害者に対し、口腔状態の改善を図るため、新たに在宅心身障害者歯科保健推進事業を行います。

市民の健康増進は、しんた21に設備したトレーニングルームや健康増進室を活用し、市民の健康づくり教室や体力測定あるいは成人病予防の運動教室などを積極的に推進します。

市民のコミュニティ活動の助長を図るため、若山町に開設される大型店に老人憩の家を新設し、その有効活用を図られるよう努めます。

市営墓地は、本年三月より、新たに富浦墓地の隣接地に造成することとし、本年秋の貸付をめざします。

次に、国民健康保険事業は、単年度収支の均衡を図るため、一般会計からの繰り出しを継続して行うとともに、本年度、税率及び課税限度額の見直しをすることといたしました。

また、がん検診の受診を高めるため、国保加入者の受診者負担額を無料にすることとします。

## 創造性あふれる

## 開かれた市政の推進

住民の異動届けと印鑑登録、住民票、印鑑証明の発行や戸籍謄本等の交付が各支所の窓口ですぐできるよう住民基本台帳のコンピュータシステム化を、本年度中に仕上げ、平成七年から行うこととします。

固定資産の評価と課税事務の効率化を図るため、土地や家屋台帳のO A化を引き続きすすめます。

広聴活動は、市民総参加のまちづくりを進めるため、市政懇談会、フォーラム等を開き、また、各種団体、青年、女性との意見交換を通じて市民との対話を行うとともに、定期的に市民意識調査を行います。

広報活動は、リポーターによる市民の広報紙づくりへの参画を広げるとともに、広報モニターの見やアンケート調査を参考に、より親しまれる広報紙づくりに努めます。

また、新たな広報ビデオの製作に取り組みます。

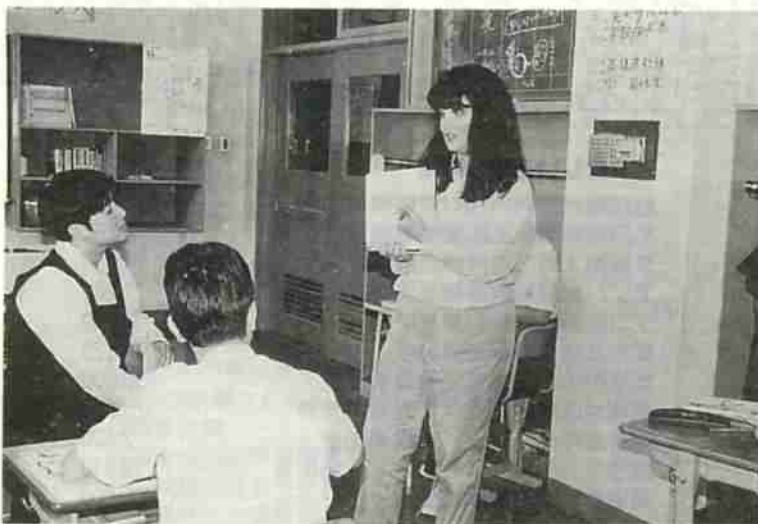
職員研修は、職員の資質の向上を図るため、引き続き、道や室蘭テクノセンターに職員を派遣するとともに、接遇研修や各種研修を計画して行い

ます。

国際交流は、外国人研修生の受け入れを支援するとともに、引き続き、中学生の海外派遣を行います。

なお、市民の海外派遣は、本年度五年目を迎えるところから、その成果をまとめ、今後の方策について検討します。

白石市との姉妹都市交流は、今後、さらに両市が友好と理解を深め、相携えて発展することを期して、各種交流事業に対し支援します。



▲英語指導助手による授業風景(登別温泉中学校)



▲コンピューターを使つての授業風景（登別中学校）



教育行政執行方針を発表する  
後藤教育長

教育は、望ましい人間形成を目指して行われる営みであり、一人ひとりが自分の個性を発揮しながら充実した人生を歩もうとする意志を形成するところにあります。

教育委員会としましては、新しい時代の教育課題を的確にとらえ、「新しい教育への確かな手懸え」をめざし、市民がぬくもりとやすらぎを通して、「つるおいのある生への喜び」を感じられる行政の執行に努めます。

# 平成六年度 教育行政執行方針（抜粋）

## 学校教育の充実、振興について

情報教育は、新たに西陵中学校と登別温泉中学校にコンピュータ機器の設置を行うとともに、各教科でのソフトの充実に努めます。

健康安全教育は、児童生徒が生涯を通じて健康で安全な生活を送ることのできる能力・態度を養うため、家庭や地域との連携を密にしながら、その充実に努めます。

特に、エイズ教育については、昨年、北海道学校保健審議会から「学校におけるエイズに関する指導のあり方について」北海道教育委員会に答申があり、本年度新たに指導資料が発行されますので、それらを参考にし指導の充実に図ります。

障害をもつ児童生徒の教育は、自立、交流、体験を通して、社会参加に向けた教育の充実に努めます。

なお、本年度は新たに登別小学校に特殊学級を開設します。

学校図書の実績は、昨年、文部省から学校図書整備の標準が示されたことから、引き続き整備充実に努めます。

空き教室の活用は、西陵中学校の

空き教室を視聴覚教室に改造整備し、情報化への取り組みを進めます。

学校週五日制は、さらに、将来月二回への導入を見越し、その対応を引き続き調査研究を進めます。

## 社会教育の充実と 振興について

成人教育は、情報の提供や研修会・講座等の充実を図るほか、市民一人ひとりが社会活動に参加できるよう、働きかけます。

老人大学は、本年度は新たに、老人大学院卒業生にその成果を評価し「博士号」を授与します。

また、婦人短期大学は、学習内容の充実を図り、その成果が自主サークルの広がり発展するよう目指します。

芸術・文化の振興は、各種団体の行う発表会を奨励・支援するとともに新たに、中学校の合同芸術祭を行います。

また、登別市指定文化財のうち、

「円空作観音像」のレプリカ（複製品）を作成するとともに、「片倉家北海道移住頼末」をはじめとする古文書を解読し、その活用を図ります。

姉妹都市スポーツ交流は、本年度白石市を訪問し、柔道、剣道、空手の三種目の競技を行い交流を深め友好の絆を強めます。

図書館は、司書を増員し、多様なニーズに応える資料の整備に努めます。

また、本年は国際家族年であることから、この趣旨を受けて月一回程度学校給食を弁当に切り替え、親子のぬくもりを通して、明るく強い

きずなを作るため努めます。

また、本年は国際家族年であることから、この趣旨を受けて月一回程度学校給食を弁当に切り替え、親子のぬくもりを通して、明るく強い

きずなを作るため努めます。

### 教育費の主な経費

（単位：千円）

教育用コンピューター導入経費	21,977
幌別小学校校舎周辺整備事業費	69,600
登別中学校屋内運動場改造事業費	173,500
陸上競技場整備事業費	5,035
給食用食器取替経費	3,317

# 幌別小学校の新校舎完成

## 壁をなくして、

## 授業ができるよ



平成五年一月から改築工事を進めていた幌別小学校の新校舎が完成しました。新校舎での授業は、

昨年十二月十三日から始まりましたが、三月十日に新校舎と体育館を結ぶユニークな太鼓橋型の渡り廊下が完成し、建物部分の工事は終了しました。

新校舎は、鉄筋コンクリート造り二階建て(一部三階建)、延べ床面積約四千四百平方メートルで「コの字型」をしています。総事業費は十二億二千三百六十万円。

校舎の外観は、レンガ造りだった旧校舎のイメージを残そうと市役所前の道路に面した壁をレンガ張りにしています。

### 床暖房のホールと 大きな木彫りの レリーフ

児童玄関を入るとすぐ正面に多目的ホールがあります。子供たちが腰掛けて話ができるように、中央の丸は円形に掘り込み、周りの

フロアは床暖房になっていました。ホールには、一際目を引く大きな木彫りのレリーフ(幅十五メートル、高さ二メートル)があります。二階部分の壁一面に造られ、同校の過去から未来までが、夢いっぱい表現されています。

### 市内小中学校では 初めての動く壁 (スラントイングウォール)

新校舎の大きな特徴は、普通教室(六教室)の廊下側の壁を可動式にしたことです。壁を移動すると二つの教室と廊下部分を併せ、一



▲太鼓橋型の渡り廊下。下を車が通行できます。



▲木彫りのレリーフがある多目的ホール。



▲壁を移動して廊下も使い、のびのび授業。(手前が廊下)

つの大きな教室が生まれます。このため廊下も幅を五・五メートルと広く取り、多目的スペースとして活用できるようにしています。今後、この大きな教室は、文部省が導入を検討しているチームティーチング(複数教師による合同授業)などへの活用が考えられています。



# のぼりべつ まちづくり夢委員会21

## ～まちの夢先案内人～



市は、21世紀へ向けて、新しい総合計画を作るための作業を現在進めています。策定にあたっては、市民の皆さんとともに作り上げることを基本としています。

### 個性的なまちづくりを目指す 市民組織が誕生

「のぼりべつまちづくり夢委員会21」

二月二十八日(月)、21世紀のまちづくりの指針となる新総合計画に、市民の夢をしっかりと反映させるため市民組織「のぼりべつまちづくり夢委員会21」が誕生しました。通称は「夢委員会21」です。

#### ◆夢委員会21とは？

平成八年度からスタートする新総合計画に市民の夢を反映させ、市民の手ですすめられているCI(コミュニティ・アイデンティティ)運動と計画策定を一体と行うため「夢委員会21」は、市民の架け橋として誕生しました。

「夢委員会21」を構成する委員は、婦人団体、市民憲章推進協議会、ボランティア団体、文化団体、スポーツ団体などの各種団体や市民グループのCI幹事会、いきいき人とまち推進会議などでまちづくりに積極的に取り組んでいる四十九名の市民の皆さんです。代表は、登別東町に住む川西悟さん(45歳)。



#### ◆まちづくり市民シンポジウム開かれる

市と「夢委員会21」は、三月十九日(土)に市民会館でまちづくり市民シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、ハウステンボス(株)の濠澤壽一さんの「自然との調和を目指したまちづくりについて」の講演の後、引き続きパネルディスカッションが行われ、

#### ◆21世紀のまちづくりが はじまります

「夢委員会21」は、50年後、100年後の登別の目指すべき方向や将来像を導き出すために、各委員が話し合いをして、六月をめどに報告書をまとめ、市に提出することが決められました。



▲大村朋子さん(18歳)が自分の夢を詩に託して朗読しました。

#### ※用語の説明

CI(コミュニティ・アイデンティティ)運動とは、市民自らが個別の個性あるまちづくりを目指し、実践していく運動です。

# みんなでまもる

## のぼりべつの国民健康保険 シリーズ③

最終回の今回は、国民健康保険(以下：国保)事業の重要な財源となる国民健康保険税(以下：保険税)のしくみと大きな特色である退職者医療制度についてお知らせします。

### 【保険税の課税のしくみ】

保険税は、国の補助とともに医療費を支払う重要な財源で、次のようなしくみになっています。

平成6年度の税率と課税限度額

区分	税率	計算方法
所得割①	15%	世帯の所得に税率をかけた額
資産割②	15%	固定資産税の税額に税率をかけた額
均等割③	23,000円	世帯の加入者数に税率をかけた額
平等割④	27,000円	1世帯当たりの定額
合計⑤	1年間の保険税=①+②+③+④	
賦課限度額	450,000円	⑤の額が限度額を超えるときは450,000円

※国保の加入届出(3月1日号参照)が遅れると、資格発生日(最高3年)から保険税を納めなければなりません。

### 【退職者医療制度】

#### 年金受給者に限ります

会社や役所に勤めて退職し、現在国保に加入していて、公的年金を受給している70歳未満の退職被保険者とその扶養家族は「退職者医療制度」で診療を受けることになります。

#### 対象となる人

次の二つの条件にあてはまる人とその扶養家族です。

- ①厚生年金や共済年金などから老齢年金(退職)を受給している人で、年金加入期間が20年以上、あるいは40歳に達した月以後の年金加入期間が10年以上の人

②本人保健の適用を受けていない人

#### 扶養家族とは

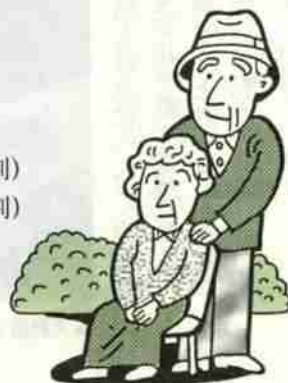
扶養家族として認められる人は、退職被保険者と一緒に暮らし、主に退職被保険者の収入によって生計を維持している次の人です。

- ①退職被保険者の直系尊属、配偶者(内縁関係でもよい)や三親等内の親族  
②配偶者(内縁関係でもよい)の父母や子(配偶者が死亡後でもよい)

#### 診療を受けるとき

病院、診療所で「退職被保険者証」を提出すると次の給付があります。

- 退職被保険者本人  
医療費の8割(自己負担2割)
  - 扶養家族  
外来受診…医療費の7割(自己負担3割)  
入院…医療費の8割(自己負担2割)
- ▷問い合わせ先 保険年金課  
国民健康保険係 ☎1771



### 【平成6年度国民健康保険税計算例】

#### 例1(営業所得世帯の場合)

加入者	5人
営業所得	2,000,000円
専従者控除額	500,000円
固定資産税	40,000円



- ・所得割額の計算 (基礎控除) (課税標準額)  
2,000,000円+500,000円-310,000円=2,190,000円  
2,190,000円×15%=328,500円……①
- ・資産割額の計算  
40,000円×15%=6,000円……②
- ・均等割額の計算  
5人×23,000円=115,000円……③
- ・平等割額  
定額27,000円……④
- ・保険税①+②+③+④=476,500円  
↓(限度額450,000円)
- 年間の保険税額 → 450,000円

#### 例2(給与収入世帯の場合)

加入者	4人
給与収入金額	1,500,000円



- ・所得割の計算 (給与所得控除額) (所得金額)  
1,500,000円-650,000円=850,000円  
(給与特別控除) (基礎控除) (課税標準額)  
850,000円-20,000円-310,000円=520,000円  
520,000円×15%=78,000円……①
  - ・均等割額の計算  
4人×23,000円=92,000円……②
  - ・平等割額  
定額27,000円……③
  - ・法定軽減額 (均等・平等割額の4割軽減) 47,600円……④⑤
  - ・保険税①+②+③-④=149,400円 → 年間保険税
- ⑤所得金額と被保険者数に応じて均等・平等割額の6割または4割の軽減措置があります。

#### 例3(65歳以上で年金収入世帯の場合)

加入者	2人
年金収入金額	2,500,000円



- ・所得割の計算 (控除額) (所得金額)  
2,500,000円-1,400,000円=1,100,000円  
(老齢者特別控除額) (基礎控除) (課税標準額)  
1,100,000円-170,000円-310,000円=620,000円  
620,000円×15%=93,000円……①
- ・均等割額の計算  
2人×23,000円=46,000円……②
- ・平等割額  
定額27,000円……③
- ・保険税①+②+③=166,000円 → 年間保険税

#### 例4(65歳未満で年金収入世帯の場合)

加入者	2人
年金収入金額	2,500,000円



- ・所得割の計算 (控除額) (所得金額)  
2,500,000円-1,000,000円=1,500,000円  
(基礎控除) (課税標準額)  
1,500,000円-310,000円=1,190,000円  
1,190,000円×15%=178,500円……①
- ・均等割額の計算  
2人×23,000円=46,000円……②
- ・平等割額  
定額27,000円……③
- ・保険税①+②+③=251,500円 → 年間保険税



▲明治初期の幌別会所・神社付近

# 郷土史点描

登別郷土文化研究会 宮武紳一

47

## 幌別町を訪ねて

………その3

## 「明治初期のホロベツ」

巡らした馬の放牧場もみえるが、これは後述する駅運用であろうし、場所は現在の幌別町二丁目上田コシクリート工場付近であろう。江戸末期から明治・大正・昭和二十年代までは幌別町一丁目四丁目町の中心であった。

片倉家旧臣らの入植地は幌別村字浜（幌別町一丁目四丁目）、字来馬（来馬川を境に中央町三・四・五富士町一・二・三丁目付近）、小平岸（新川・片倉町）など旧家老斎藤良知の他二十六戸が幌別に入植その他鶯別・トンケシ・ランボツケ（富浦）などである。

移住者は幌別を永久の地と信じ、旧領地の刈田郡刈田峯神社を現在の幌別町一丁目三菱石油の西側に設けたが、鉄道の設置などで大正十四年（一九二五）現在地の中央町に移転した。

幌別町が現在の町の形になったのは明治五年（一八七二）札幌本道、明治二十五年に北海道炭鉄道が設けられ分断されたからで前

記は国道三十六号線、鉄道は室蘭線に相当する。

明治二年、札幌が北海道の首都に決定され、当時の戸数二戸七人、翌三年九戸十三人（北海道四百七人）という状況の中で急拠北都の建設が進められた。

東京から札幌へ通ずる交通の開設は、当時北方ロシアの進出に対し北方警備の必要からも重要課題で、おおよそ東京（船）→函館→室蘭→札幌間は八、九日間、東京（船）→室蘭→札幌を通ずると約五日間という計算もあった。小樽港は日本海側で産業的課題やロシアの問題もある。

室蘭から札幌への道路設置の計画がアメリカ人開拓使顧問ケブセにより献案され、測量技師ワーフィールドが工事計画をすすめた。彼は、室蘭のホシケサンベ（沖

から舟で帰ってくる）と最初にみえてくる山）に登り三角測量の基点を定めたので以後「測量山・見当山」とよぶようになったが、新室

蘭港はトキカルモイ（魚のチカがいる入江）で海岸町・緑町（港の文学館南東）に新港の棧橋が造られ札幌道路一番柱が打ち込まれた。当時の幌別郡と室蘭郡の境界は三つ橋（うぐいす橋）で現在の輪西町三丁目・みゆき町二丁目の境辺りであろうか。鶯別都役所前に（鶯別一丁目）四百五番～四百三十番の柱が打ち込まれた。

当時鶯別のこの辺りに住民が居なかつたので山腹を削り、土塁を築き、官吏詰所一棟・長屋を二棟・板庫・炊事場各一棟、製粉・製氷のための水礁（水車小屋）を約九百戸鶯別川上流に設けた。このうち官吏詰所は翌六年幌別戸長役場庁舎とし払い下げ、幌別一丁目にあつた会所番屋は外国人技師や官吏などの休泊所とし、新築の仮小屋二棟には職工人夫が宿泊したので札幌道路建設でにぎわつた。

札幌本道の完成とともに、人や荷物輸送が増加し、移住旅行・携帯の運送に人馬継ぎ立業の駅運も旧会所を中心に行われた。

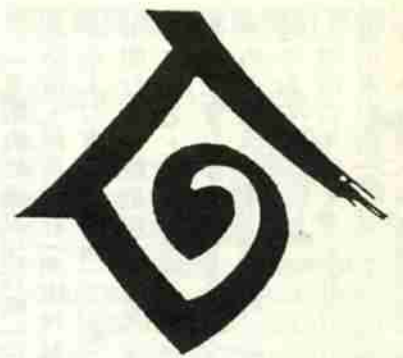
幌別居住の古い東海林栄蔵一家の金太郎も幌別で旅籠屋渡世として部屋の増築願いを出している。北海道開拓で重要な郵便制度も明治五年函館郵便役所など約二十の郵便取扱所を設けたが、幌別の

以後、場所が変わつたが現在も幌別鉄南郵便局に引き継がれている。

明治初期の幌別町の情景を考えると、どこも大体同じであるが、自然の草深い原野と湿原・密林に覆われ、鉄道も国道もなく細い小道も見えない自然の状況をまず思い浮かべねばならない。広い砂浜にヤマアラシの背の針のように堅いムリツチ・ハマボウフウ・シロヨモギ・ハマエンドウ・ハマナシ（昔幌別ではハマナシと言ひ、ハマナスは浜梨の東北訛だからハマナシが正しいと我国植物の大家牧野博士が言つていた）が会所等の家並みに続いていた。

「東蝦夷地海岸図台帳」によると会所・稲荷神社（刈田神社）付近から末の方向（南西）へ約二百四十間行くと幌別川がある。直線距離にすると約四百三十間、中央町三丁目からJRを越える「ときめき橋」の下、幌別町一丁目付近である。

明治六年頃と思われる「札幌本道出来形図」を見ても、会所・神社と会所前南西部海岸側に囲いを



国際家族年シンボルマーク

# 今年、国際家族年です

## 共通スローガン

## 「家族から始まる

## 小さなデモクラシー」

今年、国連が定めた国際家族年です。国際家族年は、一九八八年の「世界人権宣言」を受けて、人間社会の基礎的な単位である家族の中で、家族の重要性や役割などを見つめなおし、家族のきずなを強めていこうと、世界的に取り組まれているものです。

そこで市は、今年行う各事業に「国際家族年」の冠を付け、家族の在り方を市民みんなで考える年として、取り組んでいきます。六月中旬には、市民の皆さんの関心を高めてもらうため「国際家族年市民シンポジウム」を開きます。詳しい日時などについては、広報紙でお知らせします。

▽問い合わせ先 企画調整室 (☎1122)

### 月に一回「弁当の日」

国際家族年の啓蒙活動のひとつとして、四月から市内小・中学校で「弁当の日」を設けます。



### ゆったり気分 あったか気分

子供たちは、弁当を楽しく食べ

「弁当の日」は、月一回(年十回)とし、第四水曜日を予定しています。名称は、親子や家族のきずなを見直し、大切にしようということとが理解されるよう各学校で工夫してつけられます。

るだけでなく、給食の準備や後片付けの時間がかからないことから、時間の余裕も生まれ、ゆったりとした気持ちで友だちとの会話も弾みます。そして、みんなで一緒に楽しく「食べる」を通して好ましい人間関係も育っていきます。

弁当・・・それは、おなかを満足させるだけでなく、友達とのつながりを豊かにし、思いやりや親への感謝の気持ちを育てることにつながります。

平成六年度の給食は、昨年度の百八十五日から百七十五日となり、給食費は据え置きとなります。

▽問い合わせ先 学校教育課 (☎1100)

### 昔のなつかしい

#### 弁当箱はありませんか

昭和三十年代ころまでの弁当箱を集めています。お持ちの方は、郷土資料館(☎1339)までお知らせください。



# 愧別川の野鳥たち

僕は、ユリカモメ。並み居るカモメの中でも、名前からして一番エリートだよ。身長40cmとちよつと小柄。背中は青灰色で、クチバシと脚の暗紅色がチャームポイント。最大の特徴は、夏と冬で顔の色が変身することなんだ。冬は、白い顔に、3か所スミをつけたような顔になるけど、夏の僕は、黒頭巾をかぶってしまふんだ。この4月は、夏の顔が入り混じるから、観察するとおもしろいよ。人間は僕たちをまとめて「カモメ」って呼ぶけど、オオセグロカモメ、セグロカモメ、ウミネコたちがいるし、それぞれ立派な名前が付いているからトリまごめないでね。このコーナーは、ユリカモメの僕で終わらだけど、愧別川で生まれて巣立つて行った僕ら鳥たちのふるさとの川が、いつまでも自然豊かなことを願っています。



鳥名 ユリカモメ

観察時期 11月から5月中旬まで

(文・写真提供 日本野鳥の会)

会員ヨシキリの会

▽問い合わせ 伴野さん(☎7515)

## 友達の輪

今回は、先月号の木村さんからのご紹介で、富岸町にお住まいの中田志津子さんの登場です。



中田 志津子さん (40歳)

富岸町在住

「で、全国チェーンの洋菓子店を新生町で経営し、なおかつ、ご主人の建設会社の経理をこなしてしまおうというキャリアウーマンです。」

あまーい香りがぶーんとする真新しい店内。女の子にとつてあこがれのケーキ屋さんを始めるきっかけを伺いました。

「何年も前になるんですが、チェーン店の一つである幌別のお店を、主人が手掛けたときに「いずれはこういう店を持ちたい。するならば女房に」と言うことで、私がやることになったんです」とのこと。最初はご主人の夢だったかもしませんが、見事二人三脚で実現させています。

仕事の話をする中田さんの口調は熱っぽく、商品管理に対する厳しきなど店にかける意気込みが感じられました。「まだ、開店して一年経っていない

いので、やること全てが新鮮でひなまつりなどの行事に追われる毎日です。これからの季節は、食中毒に十分気をつけなければ」と、忙しい中にも経営者としての気配りを忘れていません。

高校三年生と中学三年生になる二人の男のお子さんを持つ中田さん。お店でアルバイトするお兄さんを見て「接客が好きなので、子供の意外な一面を見ましたね」とは、お母さんの顔に戻つての弁。リポートする私にとっては、よ

「富岸町に住んだころ、当時は何もなく一面湿地帯でした。今では大型店もオープンして家も建ち並び、ここがこんなに整備されて開けるとは思ってもみませんでした

た。」

家に帰ると、主婦として家事を切り盛り。二つの仕事をこなして行くうえで、今のところ家事のほうには、目をつぶってもらっている状態といます。それには、家族の協力があってこそですよ。

ご主人も忙しく、お互い帰りの時間は、九時ころになるそうです。「主人の方が早く帰ったりすると、包丁を持って晩ごはんの支度をしてくれるんですよ」と、またしてもうらやましい。

お互い理解しあい、助けあって生活している。自分の仕事に誇りを持って、いきいきと輝いている。そんな姿が印象に残った一日でした。

▲市民リポーター 丸山由紀

次回は、若草町にお住まいの谷口國夫さんです。

となりまち  
ほっとライン

## 室蘭市



トドやアブラボウスが大歓迎  
17日水族館オープン

今年も人気者のトドやアブラボウス、日本一の飼育年数を誇るオオサンショウウオたちが、皆さんに会えるのを楽しみにしています。17日の開館日には、先着200人に記念品をプレゼントします。

▷開館期間 4月17日から10月31日

(期間中無休)

▷時間 午前9時15分～午後4時45分

▷入館料 小・中学生60円、高校生以上250円

▷遊具料金 50円から200円

～ トドのショー ～

▷ショータイム 平日午後1時、日・祝日

午前11時・午後1時

▷問い合わせ 室蘭水族館 (☎01638)

## 伊達市



園芸ファン集合!

第18回だて緑と花のまつり

木々や草花が一斉に芽吹く春。伊達市と伊達市花木生産組合では、今年も「だて緑と花のまつり」を開きます。まつりのメインは、「園芸市」。期間中毎日開催され、ツツジ、オンコ、サクランボなどの庭木類や色とりどりの草花が安価で販売されます。

また、5月8日(日)には、市の花・ツツジの苗木プレゼント(500本)や園芸・生け垣相談、野菜即売など多彩な催しも用意しています。緑と花いっぱい会場へ、どうぞお越しください。

▷期間 4月29日(金)から5月13日(金)

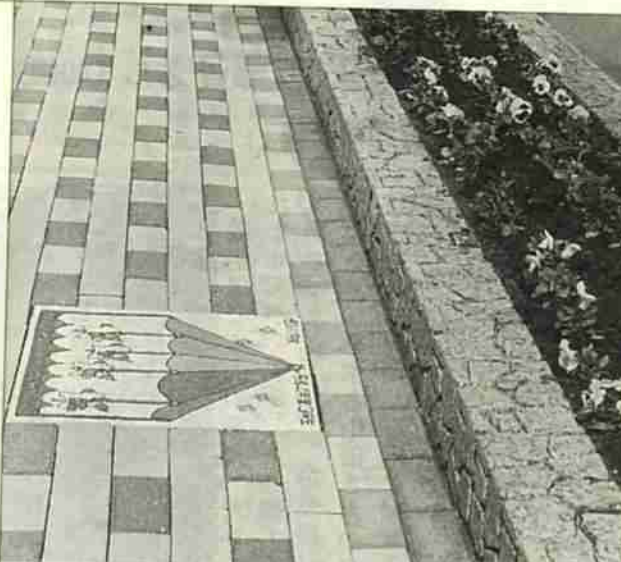
▷会場 JA伊達グリーンセンター前広場  
(末永町・西小学校前)

▷問い合わせ 伊達市都市計画課 (☎014233331)

# カラーブロック

市役所前歩道 中央町

幌別小学校前から道銀登別支店前までの両側の歩道は、室蘭土木現業所が平成三年度から工事を進め、カラーブロックでおしゃれに整備されました。歩道には、幌別小学校の児童が書いた十六枚の絵と花壇が八つ設けられています。花壇は町内会や幌別小学校、市役所がそれぞれ自主管理し、もうすぐ春の花でいっぱいになります。(写真は昨年4月下旬に撮影したものです。)



まちかどぶらり

# 老人大学の学生募集

市教育委員会は、高齢者の方の余暇時間の有意義な利用を図ってもらうため、毎年「老人大学」を開設し、趣味・レクリエーション活動を通して学習しています。

▽対象 市内に居住する満六十歳以上の方

▽学習日 月一回で四年間

▽内容 講演、見学旅行、レクリエーション、大学祭など

▽場所 市民会館(幌別地区以外の方はバスで送迎します)

▽申し込み期間 四月四日(月)から十八日(月)まで

▽申し込み・問い合わせ 老人クラブ加入の方は所属クラブ会長へ、他の方は社会教育課(☎1100)へ

# 婦人短期大学の学生募集

市教育委員会は、生涯学習時代を心豊かに生き抜くため、婦人短期大学を開設します。

▽対象 市内に居住する女性

▽学習期間 五月から十二月まで

# 福祉タクシースの利用者を拡大しました

身体障害者手帳を所持する一・二級の下肢・体幹・視覚障害者にタクシースケットを助成していますが、四月一日から利用対象者を内部障害者(心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこうまたは直腸・小腸)の一・二級の方まで拡大しました。

▽助成内容 一カ月二枚、年間二十四枚(基本料金分)のチケット

▽申請方法 身体障害者手帳・印かんを持参して社会福祉課福祉係(☎1911)へ

# 表紙のこぼ

お年寄りに生きがいある人生を送ってもらおうと昭和55年に開校した老人大学の卒業式が3月18日市民会館で行われ、117名の方が卒業しました。

全盲のハンディを克服して2年間1度も休まず通った富士町5丁目の中川千代吉さん(70)は、2年生代表の精勤賞を受賞。中川さんといつも一緒の盲導犬ロティにも好物のリンゴがプレゼントされました。

# ひとの動き

■人口 57,119人 (前月比 - 25)

■世帯 20,730世帯 (前月比 - 2)

平成6年2月末日現在

発行

登別市役所

総務部総務課広報係

☎0143☎1130

〒059

北海道登別市中央町

6-11